

## 平成 26 年度事業報告書

当センターの設置目的である豊かで活力ある長寿社会の実現に向けて、関係機関・団体と連携を図りながら、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進するための諸事業を実施しました。

当センターは発足以来四半世紀が過ぎ、社会状況が大きく変化するとともに、センターに求められる役割も変わっていることから、県の総合5か年計画「さわやか信州創造プラン」で目指している「人生二毛作社会」実現の理念とも協調して、「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」をセンターの目標に掲げ、事業体系を抜本的に見直しました。

情報誌発行事業では、シニアのための情報誌「信州りらく」を発行し、高齢者に関係の深い文化や社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼びかけました。

いきいき中高年社会貢献活動支援事業では、中高年者の社会参加活動を推進するため、地域社会との関わりを深める活動に対して支援しました。

高齢者地域活動会議運営事業では、高齢者の社会参加をテーマに、県民参加のタウンミーティングを県下各地で開催するとともに、シニア大学の学生に対して地域のボランティアセンター等の窓口、活動内容を紹介する等、高齢者の活動の場の確保に向けた取組を行いました。

長野県シニア大学運営事業では、積極的に社会参加のできる実践者を養成するとともに、高齢者の仲間づくり、知識の涵養及び生きがいと健康づくりをすすめ、980人の皆さんが卒業されました。また、シニア大学運営委員会において、シニア大学が目指す方向について検討を行い、社会参加活動につながる人材養成の場であることを一層明確にしました。

また、高齢者のリーダーやリーダーとともに活動できる人材を養成するため、新たな学びの場を設置するための検討を行いました。

信州ねんりんピック開催事業では、高齢者の文化・芸術とスポーツの祭典「信州ねんりんピック」を小諸市を主会場に開催し、県下各地から延べ3,310人の高齢者等の皆さんの参加をいただきました。

また、第27回全国健康福祉祭とちぎ大会へ長野県選手団を派遣し、競技に参加するとともに各県選手団とのふれあいと交流を深めるなど、生きがいと健康づくりを推進しました。

「賛助会」については、個人会員、法人会員ともに減少傾向が続いているため、各地区賛助会や活動サポーターを通じて加入促進に向けた取組みを引き続き行いました。

賛助会員グループ活動への支援では、グループの活動を円滑かつ積極的に推進するため、その活動経費の一部を助成し、賛助会員が行う社会参加活動など多様な活動を推進しました。

なお、賛助会員代表等による地区賛助会連絡協議会及び賛助会員制度にかかる意見交換会を開催し、賛助会活動の推進等について活発な協議・意見交換を行いました。

高齢者社会参加促進事業では、「シニア活動推進コーディネーター」を県下3地域に新たに配置して、シニア世代と地域社会のニーズのマッチングを行う等、高齢者の多様な社会参加を支援する取組を行いました。

## 1 意識づくり

### (1) 情報提供事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼びかけました。

#### ① 情報誌発行事業

高齢者に関係の深い文化・社会参加活動等に関する情報並びに人々の絆や支えあい情報を広く発信し、生きがいと健康づくり、社会参加への意識の高揚を図りました。

また、情報誌をシニア大学生に配付し、センター事業のPRとともに賛助会員加入促進並びに社会参加活動の啓発を行いました。

そして、センターの新たな方向性に対応するため、情報誌企画・編集委員会において、情報誌のあり方について検討を行いました。

ア 誌 名 「信州りらく」

イ 発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）

ウ 発行部数 4月 6,300部 7月 6,300部 10月 6,300部 1月 6,300部

エ 配布先 賛助会員、市町村、市町村社協、図書館、公民館等

オ 支部通信員の設置 センター各支部に配置の活動サポーターから、地域の身近な情報を提供していただくとともに、読者の声を情報誌の編集に反映させました。

#### ② 広報啓発事業

報道機関等への情報提供を積極的に行い、高齢者の生きがい・健康づくり及び社会参加を啓発、推進するとともに、センター紹介パンフレットを新たに作成し、センターの役割や事業体系・内容等について、広く県民や関連する多様な機関・団体等に周知しました。また、賛助会員加入案内パンフレットを作成し、加入促進を図りました。

### (2) 啓発普及事業

高齢者の生きがいと健康づくりに対する県民各層の意識の高揚を図るため、広報啓発活動を実施しました。

#### ① ホームページ運営事業

ホームページに、イベント、事業、募集案内及び情報誌「信州りらく」や地区賛助会の会報誌、人生二毛作社会の推進、タウンミーティング等に関する情報等を随時掲載し、センターへの理解や協力が促進されるよう情報発信を行いました。

#### ② 表彰事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動に功績のあった個人及び団体を、信州ねんりんピック式典の席上で表彰し、賛助会員活動の一層の推進を図りました。

ア 期 日 平成26年9月6日（土）

イ 場 所 小諸市文化会館（小諸市）

ウ 受 賞 者 個人7人、団体11グループ

### (3) 活動推進事業

高齢者等による社会参加活動を推進するため、活動経費の助成等を行いました。

#### ① センター支部活動事業

明るく豊かな長寿社会づくりを推進するため、センター支部の自主的な活動を促進することを目的に実施しました。

② いきいき中高年社会貢献活動支援事業

中高年者が地域社会への関わりを深めるきっかけづくりとするため、地域社会へ貢献しようとする 概ね 50 歳以上の中高年者を中心に結成されたグループを対象に、その活動経費を助成しました。

▶ 助成額 8 グループ 1,020,600 円 (対前年比 114%)

③ 高齢者地域活動会議運営事業

高齢者の社会参加をテーマに、県民参加のタウンミーティングを県下 10 地域で開催し、意見交換を行いました。また、シニア大学生へ地域のボランティアセンター等の窓口、活動内容を紹介する等、高齢者の活動の場の確保に向けた取組を行いました。

2 人づくり

人材育成事業

社会参加意欲の醸成とその実践力を高めるとともに、高齢者の生きがいと健康づくりを推進しました。

(1) 長野県シニア大学運営事業

- ① 高齢者の積極的な社会参加の実践者を養成するとともに、仲間づくりと知識のかん養を高めながら、自らの生きがいと健康づくりを図るため、長野県シニア大学を 10 学部において実施しました。(2 年制)

ア 実施内容 授業時間等 年 60 時間(4 時間×15 日)

(1 学年 教養講座 24 時間、実技講座 20 時間、実践講座 16 時間)

(2 学年 教養講座 20 時間、実技講座 20 時間、実践講座 20 時間)

イ 授業料 1 人年額 8,500 円

ウ 募集定員 2,600 人(各学年 1,300 人)

1 学年入学実績 1,169 人、2 学年進級者数 1,124 人(年度当初人数)

エ 卒業者数 980 人

- ② シニア大学運営委員会において、シニア大学が目指す方向について検討を行い、地域社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人材を育むことを明確にするとともに、社会参加活動の実践に繋げるための「カリキュラム編成について」の内容を見直し拡充強化しました。

ア 平成 26 年 7 月 1 日 委員 6 名以内(委員長 内山 二郎) 設置

イ 設置目的

- ・シニア大学の各学部カリキュラムの企画・編成及び指導・助言
- ・シニア大学生の社会参加活動を具体的に推進する方策の提言
- ・シニア大学の今後のあり方についての提言

ウ 開催状況

第 1 回 平成 26 年 10 月 23 日(木)

第 2 回 平成 26 年 11 月 4 日(火)

- ③ 社会活動推進員の講座運営能力の向上を図るため、研修を実施しました。

(2) シニアリーダー等養成の場 開設検討事業

高齢者のリーダーやリーダーとともに活動できる人材を養成するため、地域の課題等に関する専門的な知識を習得する新たな学びの場を設置するための検討を行いました。

### 3 仲間づくり・健康づくり

#### (1) 推進事業

高齢者による文化・芸術活動やスポーツ活動などに関する多彩なイベントを開催し、生きがいと健康づくりを推進するため諸事業を実施しました。

##### ① 信州ねんりんピック開催事業

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術祭典及びスポーツ交流大会を、県及び各種団体等との共催により開催し、延べ3,310人の方に参加をいただきました。

##### ア 文化・芸術交流大会

- ▶ 期 日 平成26年9月6日(土)
- ▶ 場 所 小諸市文化会館 ホール
- ▶ 内 容

##### 〈式典〉

- ・ 社会福祉表彰(知事表彰) : 個人8人、1団体
- ・ 長野県長寿社会開発センター表彰(再掲) : 個人7人、団体11グループ

##### 〈パネルディスカッション〉

- ・ 「誰にでもその人らしく居場所と出番がある信州を目指して～いま、シニア世代の力が求められています!～」をテーマにコーディネーター(長野県長寿社会開発センター理事長)の進行のもと阿部知事を含めたパネリスト(4人)と参加者による意見交換

##### 〈ステージ発表〉

- ・ 世代間交流を目的とした高校生による吹奏楽の演奏
- ・ 賛助会員等高齢者グループによる活動発表

##### 〈展示〉

- ・ 東信地域で活躍されているシニアの活動を紹介するパネル展
- ・ 養護学校生徒の陶芸作品販売、セルフセンターによる販売

[来場者 約650人]

##### イ 長野県高齢者作品展

- ▶ 期 日 平成26年9月5日(金)～7日(日)
- ▶ 場 所 小諸市文化センター、乙女湖体育館
- ▶ 内 容 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真

出品数 276点

[来場者3会場計 約1,600人]

##### ウ 囲碁・将棋大会

- ▶ 期 日 平成26年9月6日(土)
- ▶ 場 所 小諸市公民館、小諸市働く婦人の家

[参加者 約60人]

##### エ スポーツ交流大会

- ▶ 期 日 平成26年9月20日(土)
- ▶ 場 所 小諸市南城公園芝生広場ほか
- ▶ 内 容 ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク、ソフトテニス、ソフトバレーボール、マレットゴルフ、ウォークラリー、弓道、テニス

[参加者 約1,000人]

## ② 全国健康福祉祭選手派遣事業

「咲かせよう！ 長寿の花を 栃木路で」をテーマとした第 27 回全国健康福祉祭とちぎ大会へ選手を派遣し、ふれあいと交流を図りました。

ア 期 日 平成 26 年 10 月 4 日（土）～ 7 日（火） 4 日間

イ 場 所 栃木県宇都宮市ほか

ウ 参加種目

〈スポーツ交流大会〉 14 種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、  
ゴルフ、弓道、グラウンド・ゴルフ、なぎなた、太極拳、ソフトバレーボール、  
サッカー、ダンススポーツ

〈文化交流会〉 3 種目

囲碁、将棋、健康マージャン

〈関連イベント〉 美術展、シンポジウム等

エ 本県の選手団 132 人（監督・選手 120 人、同行者等 12 人）

オ 主な成績  
ソフトバレーボール 準優勝  
グラウンド・ゴルフ 個人戦優秀賞  
ダンススポーツ 団体戦優秀賞  
美術展（工芸の部） 銅賞、最高齢者賞

## (2) 活動推進事業

地区賛助会活動への助言・支援、助成制度等による会員への活動支援を行い、賛助会員の増加を図るとともに、活動経費へ助成しました。

### ① 賛助会員募集・活動推進事業

活動サポーターの研修会を開催し、会員募集活動の促進、活動グループの育成を進めるとともに、シニア大学学生への説明会や情報誌配付による PR 等積極的に会員募集を行いました。

また、個人賛助会員の特典となる、料金の割引サービスを提供する「割引協力店名簿」を配布しました。

新たに、信州りらくの発行にあわせ、賛助会員意見交換会や、地区賛助会連絡協議会の開催状況など、賛助会員に関する情報を掲載した「長野県長寿社会開発センター事務局だより」を発行し、賛助会員活動の理解促進を図りました。

ア 活動サポーター研修会

▶ 開催期日 平成 26 年 8 月 18 日（月） 参加者数 25 人

イ 賛助会員等の状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

▶ 個人会員 3,554 人 法人会員 70 団体

▶ 活動グループ数 216 グループ 2,707 人

▶ 割引協力店 298 施設

### ② 地区賛助会運営費交付事業

地区賛助会が行う活動発表会の開催、会報の発行、会員の加入促進など、運営に係る経費を交付しました。

▶ 交付額 1,968,000 円

### ③ 地区賛助会連絡協議会運営事業

賛助会員代表（20人）と支部事務局長から構成する連絡協議会を開催し、地区賛助会活動の推進について及び長寿社会開発センター事業等のあり方について意見交換するとともに地区賛助会活動の連絡調整を図りました。

- ▶ 連絡協議会 2回開催（6月、12月）

また、賛助会員意見交換会を開催し、これからの賛助会員制度について、当事者である賛助会員と幅広く意見を交わしながら今後の方向性を考えました。

- ▶ 意見交換会 東北中南信4地区で開催（7月～9月）

### ④ 賛助会員グループ活動支援事業

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部を助成しました。

- ▶ 助成額 215グループ 2,860,920円

なお、社会貢献活動加算は、90のグループに対して助成しました。

## 4 コーディネートの仕組みづくり

### 活動推進事業

居場所と出番がある長寿社会の形成を目指し、高齢者の社会参加を推進する仕組みを構築しました。

#### ○高齢者社会参加促進事業

「シニア活動推進コーディネーター」を長野、上小、諏訪の3地域に設置して、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係団体と連携体制（プラットフォーム）を構築し、情報共有を図ることを通じて、高齢者と地域社会のニーズのマッチングを行うとともに、シニア層の様々な取組事例等を情報発信することにより、高齢者の社会参加を支援しました。

- ▶ コーディネーターの相談件数 延べ1,662件
- ▶ 人生二毛作かわら版の発行 8回

## 5 センターの運営

センターの運営について審議するため理事会、評議員会を開催したほか、事業の円滑な推進を図るため支部事務局次長等会議等を開催しました。

### (1) 理事会

- ① 第8回理事会 平成26年5月26日（月）
  - ▶ 平成25年度事業報告、収支決算等について決議
- ② 第9回理事会 平成27年3月11日（水）
  - ▶ 平成27年度事業計画、収支予算等について決議

### (2) 評議員会

- ① 第7回評議員会 平成26年6月16日（月）
  - ▶ 平成25年度事業報告、収支決算等について決議
- ② 第8回評議員会 平成27年3月24日（火）
  - ▶ 平成27年度事業計画、収支予算等について決議

### (3) その他の会議

#### ア シニアリーダー等養成の場開設検討委員会

- ① 平成 26 年 6 月 2 日（月）
  - ▶ 必要な学びの場の全体像等について協議
- ② 平成 26 年 7 月 11 日（金）
  - ▶ 長寿社会開発センターならではの学びの場について協議
- ③ 平成 26 年 8 月 7 日（木）
  - ▶ 設置する学部、定員、修業年数等の個別テーマについて協議
- ④ 平成 26 年 9 月 11 日（木）
  - ▶ 学びの場の名称、受講対象者、運営経費等の個別テーマについて協議
- ⑤ 平成 26 年 10 月 14 日（月）
  - ▶ 検討委員会の報告書について協議

#### イ 支部事務局次長等会議

- ① 平成 26 年 4 月 23 日（水）
  - ▶ 平成 26 年度事業の推進等について協議
- ② 平成 26 年 12 月 11 日（木）
  - ▶ 平成 27 年度事業の推進等について協議

#### ウ 地区賛助会連絡協議会

- ① 平成 26 年 6 月 17 日（火）
  - ▶ 役員の選出、賛助会員制度及び平成 26 年センター事業について協議・意見交換  
賛助会員活動にかかる意見交換
- ② 平成 26 年 12 月 15 日（月）
  - ▶ 平成 27 年度事業計画（案）等について協議・意見交換  
賛助会員制度にかかる意見交換会の開催報告及び意見交換

#### エ 賛助会員制度にかかる意見交換会

地区	期日	会場	参加者数
北信会場	平成 26 年 7 月 31 日（木）	県社会福祉総合センター	22 人
東信会場	平成 26 年 8 月 4 日（月）	佐久市野沢会館	84 人
南信会場	平成 26 年 8 月 8 日（金）	伊那市創造館	25 人
中信会場	平成 26 年 9 月 30 日（火）	塩尻市市民交流センター	37 人
合 計			168 人

- ▶ センターからの説明及び質疑応答、賛助会員制度にかかる意見交換

#### オ 活動サポーター研修会（再掲）

- ① 平成 26 年 8 月 18 日（月）
  - ▶ 活動サポーターの資質向上、地域活動の推進及び会員募集の強化等を推進するための研修を実施

### (4) 監査

#### 監事監査 平成 26 年 5 月 16 日（金）

- ▶ 平成 25 年度事業執行状況及び収支決算の状況等について